

2026年6月25日

jinjer株式会社

jinjer、従業員の行動起点データ(行動・身体・心理)を基に メンタル不調を未然に防ぐ

「メンタルヘルスサーベイ機能」を実装

— 2026年10月以降には「HR Signals」と連携し、離職予兆分析のさらなる高度化へ —

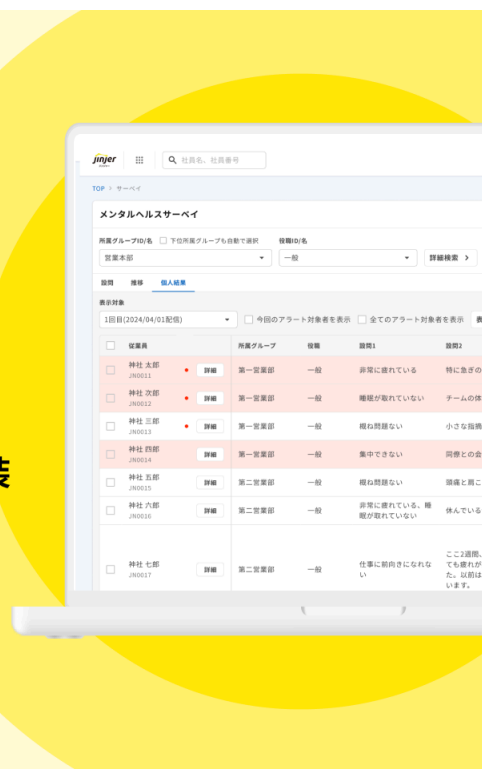
統合型人事システム「ジンジャー」を提供するjinjer株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 CEO: 富永 健)は、「ジンジャーサーベイ」にて、従業員の行動起点に関するデータ(行動・身体・心理)を基に、メンタル不調を未然に防ぐ「メンタルヘルスサーベイ」機能を実装したことをお知らせします。



従業員の行動起点データを基に
メンタル不調を未然に防ぐ

メンタルヘルスサーベイ機能を実装

2026年10月以降には「HR Signals」と連携し
離職予兆分析のさらなる高度化へ



■今回特にお伝えしたいこと

本機能は、統合型人事データベースに蓄積された従業員の行動起点に関するデータ(行動・身体・心理)から、日々のメンタルの不調を早期段階で検知し、従業員へのケアを促す機能です。

・これまでの課題

年1回のストレスチェックでは、従業員が抱える日々の微細な変化をリアルタイムで把握できませんでした。また、ストレスチェックの結果は、人事経由で現場マネージャーに伝えられることから、従業員へのケアに対する初動が遅れ、現場マネージャーが気づいた際には休職や離職意向が固まっている等、後手の対応が常態化していました。

・解決できること

行動・身体・心理の3軸から、従業員の日々の変化を検知すると、人事を経由せずに直接現場マネージャーへアラートを送信します。不調の兆候をキャッチアップし、適切なタイミングで従業員への声かけやセルフケア等の対応を仕組み化し、メンタルの悪化やそれに伴う突発的な退職を未然に防ぎます。

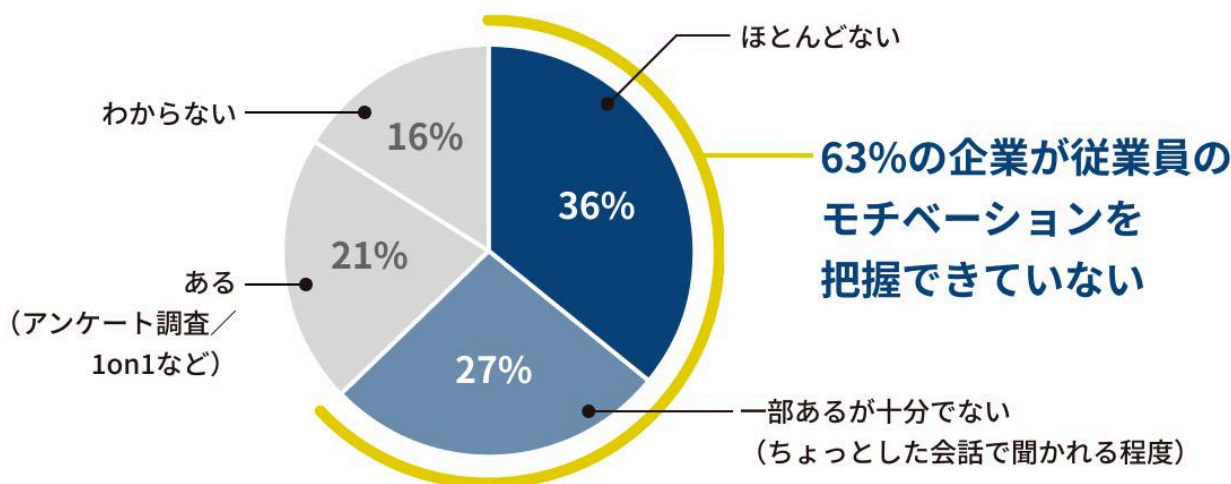
■「メンタルヘルスサーベイ機能」実装の背景

人的資本情報の開示義務化等を背景に、従業員の健康を「経営資源」と捉える健康経営・人的資本経営の推進が加速しています。深刻な労働力不足に直面する今、メンタル不調による離職や生産性低下の防止は、企業規模を問わず最優先の経営課題です。

そのような中で、jinjerが企業で働く人1,202名を対象に昨年実施した「働く人の熱量に関する調査(※)」では、63%の職場で従業員のモチベーション変化を適切に把握できていないと回答するなど、従業員の不調のサインを見逃すリスクの高さが浮き彫りとなりました。

メンタルヘルスに関わるセンシティブなデータであるからこそ、人事部が内容を慎重に扱いながら、スピーディに連携していく会社の環境作りが不可欠です。人事部が過度な運用負荷を抱え込むことなく、データに基づいて従業員が不調に陥る一歩手前で安全にサポートできる環境を確立するべく、本機能を実装しました。

あなたの職場では、社員の"モチベーションの変化"や "働く熱量"に気づいてもらえる環境はありますか？



出典：自社調査（企業に勤める従業員を対象にした調査） 回答数：1,202名

※自社調査25年10月実施【働く熱量の二極化に関する実態調査】より

■本機能の詳細

本機能の特徴は下記3点になります。

①「行動・身体・心理」の3軸から、従業員の変化を多角的に把握
全従業員に毎日3問のサーベイを配信し、不調傾向にある従業員を予防的に把握できます。
日次サーベイで不調の傾向が見られる従業員に対しては、さらに詳細な全15問（行動・身体・心理の3軸で各5問※）でサーベイを週次で実施し、環境変化による不調の兆候を多角的にキャッチアップします。
※株式会社メンタルサポート研究所の監修を基に策定
<https://mentalsupport.jp/>

②人事担当者を介さず、現場マネージャーへ直接アラート
日次・週次サーベイの結果から不調傾向が継続している従業員を検知します。
個別の設定を行う必要なく、人事を経由せず直接現場マネージャーにアラートを通知することで、1on1や日常の声かけのきっかけを提供します。

③従業員自身がコンディションコントロールを行う「22種のセルフケア支援」の提供
不調の種類に応じて、ストレッチや呼吸法等の専門的なアドバイスを、回答結果に合わせて自動で提案します。
このアドバイスを通じて、各従業員が自身のコンディションをより自律的にケアできる仕組みをサポートします。これにより、現場マネージャーが所属メンバーのメンタルの低下を早期段階で検知できます。

※実際のプロダクト画面は[こちらの紹介動画](#)をご確認ください。

①メンタルが不調傾向にある従業員の週次サーベイ回答画面

メンタルヘルスサーベイ（週次）

身体面について、この1週間のことを答えてください。

0% 

1. いつもより疲れている。 **必須**

はい

いいえ

2. 最近よく眠れない。 **必須**

はい

いいえ

3. いつもよりトイレの回数が多い。 **必須**

はい

いいえ

4. いつもより咳や咳払いが多い。 **必須**

はい

いいえ

5. ここ最近やせた（または太った）。 **必須**

はい

いいえ

②現場マネージャーへ通知されるアラート画面

メンタルヘルスサーベイ

閉じる

所属グループID/名 下位所属グループも自動で選択 役職ID/名

営業本部 一般 詳細検索 > リセット 検索

設問 推移 個人結果

表示対象

1回目(2024/04/01配信) 今回のアラート対象者を表示 全てのアラート対象者を表示 表示項目の変更

<input type="checkbox"/> 従業員	所属グループ	役職	設問1	設問2
<input type="checkbox"/> 神社 太郎 JN0011 ● 詳細	第一営業部	一般	非常に疲れている	特に急ぎの依頼が重なる
<input type="checkbox"/> 神社 次郎 JN0012 ● 詳細	第一営業部	一般	睡眠が取れていない	チームの体制変更以降、担当範囲が広がった実感があ
<input type="checkbox"/> 神社 三郎 JN0013 ● 詳細	第一営業部	一般	概ね問題ない	小さな指摘でも強く反応してしまう自分があります。
<input type="checkbox"/> 神社 四郎 JN0014 詳細	第一営業部	一般	集中できない	同僚との会話も面倒。
<input type="checkbox"/> 神社 五郎 JN0015 詳細	第二営業部	一般	概ね問題ない	頭痛と肩こりが続いています。
<input type="checkbox"/> 神社 六郎 JN0016 詳細	第二営業部	一般	非常に疲れている、睡眠が取れていない	休んでいるつもりでも回復しない。
<input type="checkbox"/> 神社 七郎 JN0017 詳細	第二営業部	一般	仕事に前向きになれない	ここ2週間、終電後も残業が続いて睡眠時間が4時間前でも疲れが抜けず、会議中に内容が頭に入ってこない。以前は乗り切っていたタスク量なのに、最近は手い

③不調の種類に応じたセルフケアの表示画面(一部)

おすすめセルフケア

1 呼吸に集中してリセットする

今この瞬間に心を集中させる呼吸法をやってみましょう。背筋を伸ばして、楽な姿勢で座ります。自然な呼吸を続けながら、呼吸の感覚に意識を集中させましょう。息を吸うとき、鼻や胸、お腹の動きを感じましょう。息を吐くときも同様に、身体の変化に意識を向けましょう。呼吸に集中しながら、過去や未来の心配ではなく、今この瞬間に注意を向け続けましょう。これを3分間続けてみましょう。

2 身体に意識を向けてリラックスする

身体全体に意識を向ける瞑想をやってみましょう。リラックスできる姿勢で座ります。目を閉じて、足の指先から頭まで、体の各部位に順番に意識を向けていきましょう。まず足の指に注意を向け、その感覚を感じます。足から順番に、膝、太もも、腰、背中、胸、腕、首、顔と、体の各部位に意識を向けながら、それぞれの部位の感覚を感じ取りましょう。身体全体をスキャンするように意識を移動させながら、緊張やこわばりを感じたら、その部分を優しく緩めていきましょう。これを3分間、続けてみましょう。

3 五感瞑想でリラックスする

こころを落ち着かせる瞑想をやってみましょう。リラックスできる姿勢で座ります。目の前にある目に見えるものを5つ、名前をあげましょう。そして触覚に意識を向けてみます。4つの触覚を確かめましょう。次に、聞こえる音に意識を向けて、耳を澄ませましょう。3つの音を聞きましょう。最後に匂いに意識を向けます。2つの匂いを意識しましょう。

回答完了しました。

サーベイに戻る

○機能の詳細をお聞きになりたい方はこちらからお問い合わせください。

<https://hcm-jinjer.com/information/>

○実際の操作画面をご覧になりたい方はこちらからお問い合わせください。

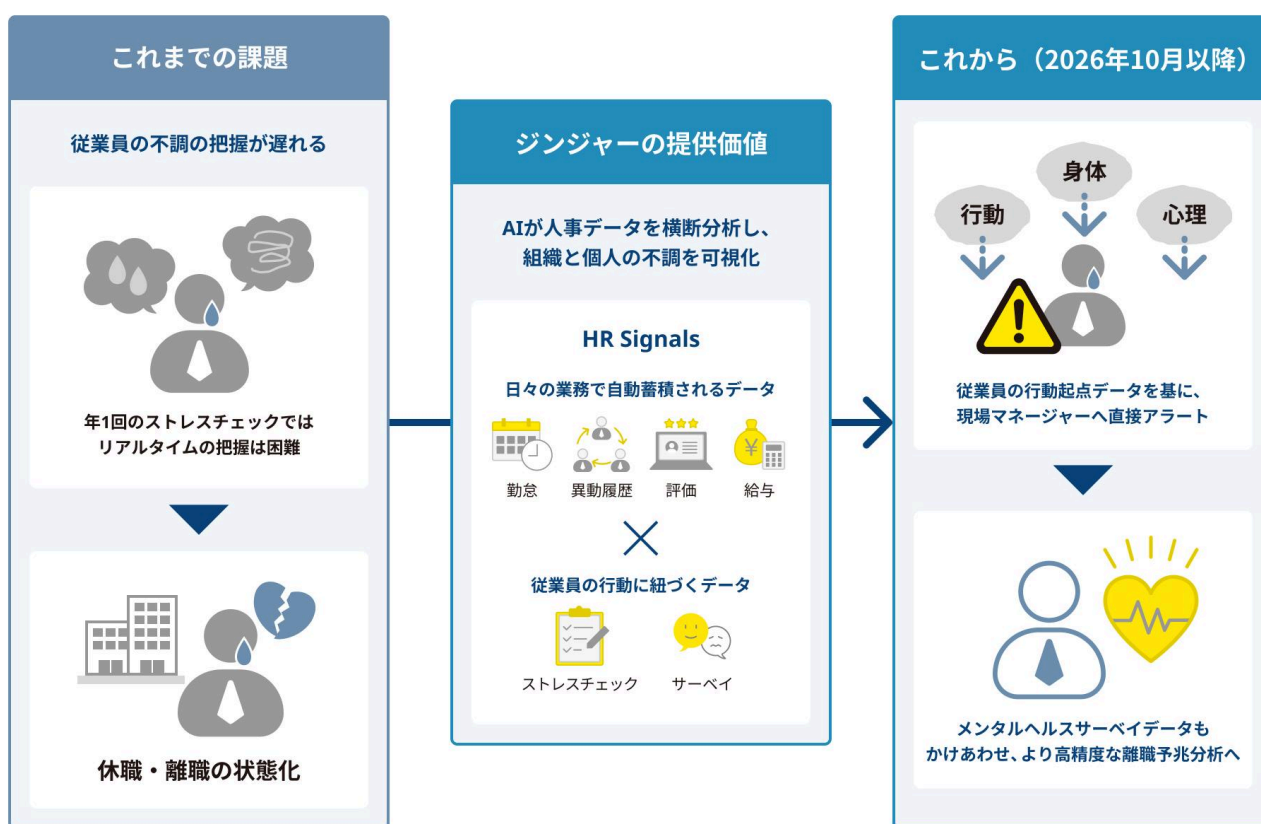
<https://hcm-jinjer.com/trial/>

■今後の展望

2026年10月以降、今回提供を開始した「メンタルヘルスサーベイ」によって蓄積される従業員の行動起点データを、「HR Signals(※)」の参照データとして統合します。

これにより、勤怠の残業時間や人事評価データ等と掛け合わせることで、より高精度な離職予兆の特定・分析ができます。人事担当者は、センシティブなデータの集計や分析の手間をかけることなく、重要人材の流出リスクを安全かつスピーディに把握可能です。また、現場マネージャーは、個人の経験や勤に頼ることなく、AIが提示する具体的なネクストアクションに沿って迷わずにメンバーをフォローできます。

そして経営層にとっては、会社全体で突発的な退職を未然に防ぎ、人的資本経営を一步前に進める強固な体制を確立します。



※「HR Signals」は「人事データ×AI」で組織と従業員の隠れたシグナルを可視化する機能シリーズです。

■jinjer CPO(最高製品責任者)松山のコメント



現代の日本企業において、現場マネージャーへの過度な負担集中、いわゆる「管理職の罰ゲーム化」は深刻な経営課題です。特に、メンバーの微細な心の変化を察知しケアすることは、個人の勤や経験だけでは限界に達しています。

今回の機能実装により、労務・タレントデータに加え、従業員の行動起点データが加わり、現場マネージャーがメンバーのメンタル不調をより早期段階で検知できるようになります。さらに2026年10月以降の展開として、これらのデータを「HR Signals」へと統合し、勤怠の残業時間や人事評価等と掛け合わせた高精度な離職予兆分析を実装します。

現場マネージャーが一人で悩むことなく、AIが提示するネクストアクションに沿って迷わずメンバーをフォローできる仕組みを確立し、現場マネージャーの多大な負担から解放する人的資本経営の形を強力に支援してまいります。

■「ジンジャーサーベイ」とは

従業員のコンディションやエンゲージメントを可視化するクラウド型組織診断ツールです。組織診断センサスとパルスサーベイを併用し、人事データや勤怠情報と掛け合わせることで、多角的な分析と組織改善を実現できます。

「ジンジャーサーベイ」サービスサイト: <https://hcm-jinjer.com/survey/>

■統合型人事システム「ジンジャー」について

ジンジャーは、人事労務・勤怠管理・給与計算・人事評価・サーベイ・データ分析・採用管理といった幅広い人事業務を、1つの人事データベースで管理できる統合型人事システムです。1つのデータベースだからこそ実現できる「正しい人事データ」は、AIによる定型業務の自動化だけでなく、人的資本経営を加速させる高度なデータ活用までを実現します。「正しい人事データ×AI」によって、組織の意思決定の質を高め、ひとの可能性を最大解放する未来を創出します。

正しい人事データで、組織の"勘"を"確信"に変える。

統合型人事システム「ジンジャー」

<https://hcm-jinjer.com/>

ジンジャー 10周年特設サイト「ひとの可能性を最大解放する未来へ。」

<https://hcm-jinjer.com/10th-anniversary/>

■会社概要

会社名 : jinjer株式会社

所在地 : 東京都新宿区西新宿 6-11-3 WeWork Dタワー西新宿

代表者 : 代表取締役社長CEO 富永 健

コーポレートサイト : <https://jinjer.co.jp/>

最新の求人一覧 : <https://jobs.jinjer.co.jp/position/>

【本件についての報道関係のお問い合わせ先】

jinjer株式会社 広報部 (E-mail: pr@jinjer.co.jp)